

# 令和元年度 第4回会津若松市子ども・子育て会議 議事録（概要）

日時：令和元年11月11日（月） 午前10時00～午前10時40分

場所：生涯学習総合センター 研修室3

## 1. 開 会

## 2. 市長あいさつ

## 3. 会長あいさつ

## 4. 議 事

### (1) 第2期会津若松市子ども・子育て支援事業計画について

発信者	質疑内容等
○会長	それでは、早速議事に入りたいと思います。お手元の次第の（1）第2期会津若松市子ども・子育て支援事業計画の素案についてを案件と致します。まず、事務局より説明を求めたいと思います。
●事務局	（資料に基づき内容を説明）
○会長	ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がございましたが、前回会議の皆様のご要望も踏まえた形であり、また、非常に見やすくなったと思いますが、委員の皆様よりご意見・ご指摘をいただきたいと思いますがいかがでしょうか？
○委員	34頁の放課後児童健全育成事業について、「保育の質の向上」と記載されていますが、小学生が利用する放課後子どもクラブで「保育」という言葉に疑問を感じます。
●事務局	基本的に「教育・保育」とは未就学児に使っている言葉ではありますが、小学生についても、家庭と同じような形で預かるとした意味で「保育」と表現しています。また、近年は人数の増加、障がい児や高学年の児童が増えたこともあり、特に質の充実が求められてきたことで、このような表現をさせていただいています。
○委員	子ども育成事業について、安全環境が大事であると思いますが記載がないのと、放課後子ども教室の記載もなくなっているように思いますが、その点、教えていただけませんか。
●事務局	まず、放課後子ども教室については、64頁の「新・放課後子ども総合プランの推進」に記載しています。安全環境については、既存施設を利活用している面もあり全てについては難しいことあるかと思いますが、少なくとも「危険がない」ことについては十分に配慮していきたいと考えています。

○委員	64 頁を読みました。が、一体型、連携型について分かりにくかったのですが、ご説明いただければと思います。
●事務局	こどもクラブを実施している学校の中で放課後子ども教室を行うのが一体型であり、一方、連携型は近隣の公民館等で行う形になります。また、現在、一体型を増やしているところでもあります。
○委員	こどもクラブの所に載せると分かりやすいと思います。
○委員	「保育」の代わりに、「子どもの発達支援」とすれば良いと思います。
○会長	ありがとうございます。各委員の意見が反映された形で素案が出来あがっていると思います。まず、本日はこの素案の形でよろしいでしょうか？他に意見がなければ、今後の予定についてパブリックコメントやその他、説明お願いしたいと思います。
●事務局	本日、第4回子ども・子育て会議にて素案の検討をいただいたところでございます。今後、11月中旬に庁内で素案について意思決定を行い、11月下旬から1か月間パブリックコメントを開催し、そこで出た様々な意見を踏まえ、第5回子ども・子育て会議を開催し、計画案の諮問・答申と考えています。時期については令和2年1月中旬の開催と考えていますが、正式に決まれば連絡させていただきます。
○会長	ありがとうございます。2人の委員のご意見を事務局の方で再度ご検討いただき、盛り込む必要があれば計画に入れていただきたいと思います。
○委員	34 頁の「保育の質の向上」を「発達支援の質の向上」へという意見がありましたが、「発達支援」という言葉は「発達障害」のイメージが強く、保育本来の預かりと意味合いが違うのではないかと感じます。
○委員	一般市民の捉え方からすると今のご意見は適切だと思います。ただし、学問的には問題なく間違いではないことをお伝えします。
○会長	ありがとうございます。パブリックコメントで誤解がないよう、事務局には他に適切な言葉がないか再度検討していただき、場合によっては、検討結果を2人の委員にご連絡いただければと思います。他になければ、(2)その他に移りたいと思います。

(2) その他

発信者	質疑内容等
○委員	27 頁の妊産婦の健康づくりの推進について、出産後のケア等は充実していると思いますが、出産前の親が学ぶ機会があると良いと思います。自分は出産前にテキストを読み子育てについて学んでいました。しかし、実際はテキストの通りにはいかないことが多く、イライラして辛い思いをし、一人で子育てをしていると感じ精神状態も良くありませんでした。虐待は自分には関係ないと思っていましたが、善悪が分からなくなり、そのような考えが自分にもおきたことに驚きました。母親学級はお世話の仕方を学ぶ場なので、心の学びの場もあると良いと思います。
●事務局	昨年「子育て世代包括支援センター」を設置し、母子手帳交付時に親の精神面や環境面についてアンケートを開始し、心の面のサポートを中心に取り組んでおり、今年から助産師による電話・訪問相談を実施しています。まだ、心の学びの場のイメージはできませんが、妊娠から出産までの親のサポートに力を入れていきたいと思っています。
○委員	妊娠時は順調で不安は持っていませんでしたが、出産後、想定が崩れてしまった時に自分でもどうすることもできませんでした。心配な方はもちろん、心配でない方もそういう状況になってしまうことを踏まえていただければと思います。
○委員	ホームスタートで関わるお母さん達は、出産年齢が高くなり、社会生活が上手くいってからの出産・子育てに入るの、上手くいかないこととのギャップで大変な思いをしています。産前のホームスタートを始めてまだ需要はないですが、出産後に初めて抱える悩みも多いので、困る前の人ができることがあれば良いと思います。
●事務局	事例紹介やセンターの相談の場等、情報提供の部分についても配慮して事業を展開していきたいと思っています。
●事務局	任期が 11 月 15 日となっているため、新たな委員の方については、次の会議に委嘱状の交付をさせていただきたいと思っています。
○会長	ありがとうございました。今後の予定や新たな委員について事務局より説明がございましたが、他、委員の皆様いかがでしょうか？ 委員のご指摘もそうですが、そういう状況に陥っている人はどこに相談したら良いか分からないと思いますので、窓口をしっかりと提示いただいたり、あるいはアプリ等で問い合わせができる等、検討いただければと思います。他になければ議事案件を締めさせていただきます、以上をもちまして議長の任を解きたいと思っています。

5. その他

6. 閉会

以上